

第2730地区 **鹿児島サザンウインドロータリークラブ**



ロータリー：
変化をもたらす

事務局・例会場 鹿児島東急REIビル
 〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9F
 TEL 090-5295-2736
 FAX 099-251-5290
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp

2017~2018年度
 会 長 夏迫文男
 会長エレクト 田中忠征
 幹 事 中村 聡
 編 集 会報・広報委員会
 HP <http://ksw-rc.org/>

第961回例会 2018年(平成30年)1月18日(木) 本日のプログラム「クラブ協議会(上期報告・下期計画)」

Vol. 22-22

前回第960回例会(1/11(木))の報告 於: サロヤルホテル

鹿児島市内ロータリークラブ新春合同例会(会順)

進行 鹿児島東RC SAA 入佐光二

1. 点鐘 鹿児島東RC会長 黒木博幸
2. 国歌斉唱「君が代」
ソングリーダー 鹿児島東RC 原田祐子
3. ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
4. 登壇 ガバナー・ガバナー補佐・鹿児島市長・各クラブ会長
乾杯 鹿児島市内分区ガバナー補佐 丸山修
～ 会 食 ～
5. ゲスト紹介並びに会長挨拶
鹿児島東RC会長 黒木博幸
6. ガバナー挨拶 RI第2730地区ガバナー 押川弘巳様
7. 出席報告 鹿児島東RC幹事 竹山晋作
8. 鹿児島市長卓話 鹿児島市長 森博幸様
9. 閉会の辞(卓話者への御礼も含む)
鹿児島北RC会長エレクト 横山誠二様
10. ロータリーソング「手に手つないで」
ソングリーダー 鹿児島東RC 原田祐子
11. 点鐘 鹿児島東RC会長 黒木 博幸

鹿児島市内RC会員数 429(386)名
 出席数 305名 出席率 79.02%
 (2017.12.26 現在)



【ゲスト】 鹿児島市長 森 博幸様(写真左)
 国際ロータリー第2730地区 押川弘巳ガバナー(右)



次回(第962回)例会のお知らせ

日時: 2018年1月25日(木) 12:30~13:30
 場所: 社会福祉法人 落穂会 あさひが丘学園
 住所: 鹿児島市皆与志町2503 TEL: 238-4821
 プログラム: 職場訪問

出席報告

例会日	会員数	出席数	出席率%
第960回1月11日(木)	51(49)	37	75.51
第958回12月14日(木)訂正	52(50)	42	84.00

市内他RC例会プログラム

★は、記帳受付有り (ホームクラブ例会場)

鹿児島RC 1/19(金) 会員卓話 (山形屋)
 中央RC 1/22(月) クラブ協議会(上期・下期) (山形屋)
 東南RC★1/23(火) 1月21日(日) IMへ振替 (サロヤル)
 城西RC 1/23(火) クラブ協議会(上期・下期) (東急REI)
 南RC ★1/24(水) 夜間例会(新年会) (サロヤル)
 西RC 1/24(水) クラブ協議会(上期・下期) (山形屋)
 西南RC★1/24(水) 定款に基づき休会 (ゆうづき)
 東RC 1/25(木) 夜間例会 (サティズイン)
 北RC ★1/25(木) 夜間例会(新年会) (レポラント)

【挨拶】 鹿児島東RC 会長 黒木博幸

皆様、松の内は明けてしまいましたが、2018年 平成30年 明治維新150年あけましておめでとうございます。鹿児島市内ロータリークラブ新春合同例会開会のご挨拶を申し上げます。お集りのロータリアンの皆様は、ご家族とともに清々しく晴れやかなお正月を迎えられたことと、お慶び申し上げます。また、このように盛大な合同例会が開催できますことを心よりお礼申し上げます。

ではまず、来賓並びにゲストの皆様のご紹介を申し上げます。お一人目は、鹿児島市長 森 博幸様です。ご公務ご多忙の中ご臨席賜り誠に有難うございます。お二人目、国際ロータリー第2730地区ガバナー 押川 弘巳様です。雪の中、宮崎よりお出で頂きました。お二方には後ほど卓話やご挨拶を頂戴いたしますのでよろしくお願いたします。同じく国際ロータリー第2730地区ガバナーエレクト 川原 篤雄様です。地区ガバナー月信委員長 桑畑 誠様です。そしてバハマからの米山奨学生モス・アミナ・サリナ様です。鹿児島中央RCを世話クラブとして鹿児島大学水産学部で学んでおられます。最後にミャンマーからの米山奨学生モー・ルウィン様です。鹿児島城西RCを世話クラブとして鹿児島大学農学部で学んでおられます。例会を楽しんで下さい。

さて、今年はやはりこの話題から。NHK大河ドラマ「西郷どん」第1回放送ご覧になりましたでしょうか。県民の期待を示すように鹿児島県内の視聴率はなんと34.9%だったそうです。原作本では、京都市長となった愛加那の息子菊次郎が父親を回想するところから始まります。貧しい生活の中、郷中教育で育ち、2度の流刑に耐え、人情に篤く、妻や子・家族や友を愛しながら日本国を支えようと奮闘する西郷どんの姿が描かれています。その背景には、天がすべてのものに平等であるように、人として正義を貫き、他人を思いやり、愛しなさいと言う「敬天愛人」の精神が流れています。今もなお西郷どんが慕われ続けているのは、今こそ「利他の心をもって、社会のために尽くし、人々のために働く」そういった生き方のできる人物が求められているからではないでしょうか。我々ロータリアンが最も大切にしているもの、職業奉仕や4つのテストに通じるものを感じます。そして物語は、西郷どんの次の言葉で結ばれています。『なあ、菊次郎よ。あと百年、百五十年たったら、どれほどかましな国になることじゃろうなあ』 西郷どんの新たな魅力が描かれることも期待したいと思います。

明治維新からさかのぼること115年、薩摩に大きな出来事がありました。宝暦治水事業です。財政が逼迫していた薩摩では、お手伝い普請という幕府のあからさまな嫌がらせに「一戦交えるべき」との強硬論も出ましたが、平田鞞負の次の言葉で工事を引き受けることとなります。『たとえ他藩のことであっても、水害に苦しむ人たちの命を助けるために身を捨てることこそ武士の本文である。』多くの犠牲者を出しましたが、この工事の完成は永年水害に苦しんだ人々の生活に大きな変化をもたらしました。この縁により今でも鹿児島と岐阜とは様々な交流が続けられており、私はこれこそが「超私の奉仕」

の最たるものであると思っております。

今、世界では、自国第一主義が声高に叫ばれ、国や地域、民族や宗教の間で意見の対立・争い事が絶えません。国を追われ、故郷を追われ、家族を奪われ、平和で穏やかな生活を失った人々・子供たちの泣き叫ぶ姿が毎日のように目に飛び込んでまいります。命を捨ててまでの行動はできません。が、我々鹿児島のロータリアンには薩摩の先人たちの血が引き継がれています。世界のどこか、日本のどこか、行ったこともないところの、一生出会うこともない人々に、より良い生活が訪れますように、また、市内10クラブが今後ますます交流の輪を深め、切磋琢磨し協力し合いながら、ロータリーがよりいっそう喜ばれる存在となれるよう地道な活動を続けていきたいものだと思います。最後に皆様のご健勝とご多幸を祈念しながら、西郷南洲遺訓の「敬天愛人」の一節を披露し私の挨拶といたします。

『道は天地自然の物にして、人は之を行うものなれば、天を敬するを目的とす。天は人も我も同一に愛し給うゆえ、我を愛する心を以て人を愛する也』

ご清聴ありがとうございました。

